

発達障がいのある学生をどう理解し、支援するのか

■講師



坂井 聡

(香川大学教育学部 特別支援教育講座 教授)

金沢大学大学院教育学研究科修了 香川県内の県立特別支援学校、附属特別支援学校で勤務したのち、香川大学教育学部へ。言語聴覚士、特別支援教育士スーパーバイザー、自閉症スペクトラム支援士エキスパートとしても活動している。

■プログラム概要

発達障がいということばをいろいろなところで聞いたり、見たりするようになってきています。2012 年の 12 月には、小中学校に特別な支援を必要とする児童生徒が 6.5%程度存在すると、文部科学省が公表しました。当然、大学へも進学しているはずです。

本プログラムでは、発達障がい(高機能広汎性発達障がい、注意欠陥多動性障がい、学習障がい等、知的な遅れはないが、発達に偏りをもっている人たち)について紹介するとともに、その特性についてわかりやすく解説し、共通理解しかかわることができるように、情報提供をしていきたいと思います。そのうえで、新しい障がい観であるICFについて確認し、学生たちが大学での教育課程に参加し、そこで活動できるようにするための具体的な支援方法についても考えていくこととします。

また、障害者の権利に関する条約と、平成 17 年に施行された発達障害者支援法、そして大学教育について、特別支援教育の観点からも考えてみたいと思います。そのなかでも特に学生一人一人のセルフエスティームを高めるための支援方法の在り方を提案していきたいと考えています。

■主な受講対象

教職員

■本プログラムの到達目標

1. 発達障がいについての簡単な説明ができる
2. 障がいとはどういうものなのか、新しい障がい観から説明できる

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成25年8月20日(火)13:00~15:00

会 場 : 愛媛大学 城北キャンパス 校友会館 2階 サロン

定 員 : 40名